

会社のライアンズグループ（東京・中央）が、ノルウェーの水産関連会社、Syde Eie eth（ホフセス）社のndom（シブデ エイ）傘下で、同国内に水産加工工場を3カ所保有。ホフセス社はシブデ社の工場を拠点に北米や欧州向けランティックサーモンの加工工場を保有する会社のコレイは今後、このネット

日本国内でもアトランティックサーモンの脂身の多い部位「ハラス」などの需要が高まっていることから、今回の買収をサーモンの安定供給・流通につなげる。

ホフセス社の売上高は約200億円で、2015年12月期の経常利益は



国内最大のマリン製品関連イベント「ジャパンインターナショナルボートショー」が3日、横浜市で開幕した。写真。昨年を上回る193社・団体が出展し、4日間で昨年より多い5万人の来場者を目指す。国内最大のヤマハ発動機は大型の高圧のエンジン性能アップや、操船システムなどの周辺機器のラインアップ拡充に取り組み」と話し、今後のマリン事業の方向性を披露した。

1日にヤンマーとプレジャーボートの開発や生産で提携を発表したトヨタ自動車は共同開発した船体を採用した試験艇を

経成し2020年の東京オリンピック出場に向けた活動を始めたことも明らかになった。

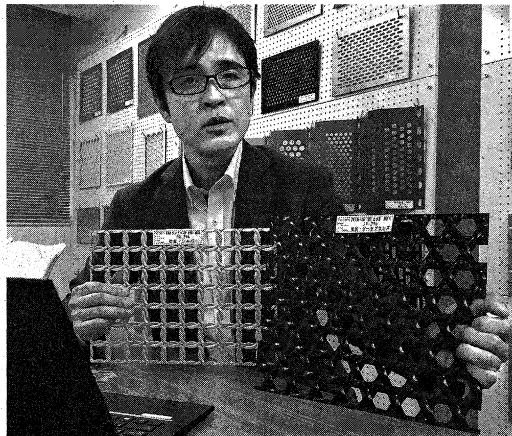
ウチヌキ

穴の開いた鉄板「パンチングメタル」は建築資材や高速道路の防音壁などに広く使われる。綾瀬市のウチヌキは専門メーカーとして精度を追求するとともに、従来「量産は難しい」とされてきた紙や樹脂などにも独自の技術で加工を施す。凹凸をつけるなどデザイン提案も進めることで、新たな需要を生み出している。

パンチングメタルは社名通り、鉄板に圧力をかけて「打ち抜く」ことで生産する。建築資材として使われることが多く、プレス加工のみでも穴の周りにバリを極力残さない金型技術が求められる。加えて整列した穴とするためには、鉄板を

神奈川のエンジン

穴開き鉄板技術 進化



プレスによって凹凸をつけ、編んだように見える「編み目加工」を送り出した中尾社長

《組織概要》

▽所在地	綾瀬市早川 2647の16
▽設立	1967年
▽売上高	8億4000万円 (2015年8月期)
▽従業員数	70人

コンピューター制御にすることで業界で初めて成功。精度を飛躍的に高めたという。2001年に中尾社長が就任後も社風は健在。同業他社が「無理でしょう」と

分を除去した上で、金属に「工」を送り出した。角穴や比べて「こし」が弱い紙の性質に合わせ、よれないように「送り」を調整するなどして実現した。

中尾社長によると、2030年ほど前までは国内におけるパンチングメタルの知名度は低く、「建築材の一つ」として使われてきた素材に意匠が加わったことで用途は拡大する。現在、パンチングメタルは、様々な模様と機能美でビルの内外装や家電製品の一部などに広く使われている。14年には業容拡大のため、東京に営業所も新設した。

編み目加工、強度と美しさ

正確にプレス機へと送る「ことに重きを置いてきた」と中尾健太郎社長は自社の特徴を「従来の考えにとらわれず、まず挑戦してみる

断ったという紙への加工にも挑戦した。プレス機を使うことが従来の「常識」だったの「形」を模索し、代表的な製品の「編み目加工」も挑戦した。創業で父のう以上、加工油を用いることが、事前の清掃を徹底し油

は約350国の温泉地から火山について話し合スカッシュ災害報道と課題」など

「パンチングメタルでもこんなことができるのか。五輪後、国内市場は頭打ちになる」と断言。「成長が続きアジアを開拓しなければ、中小製造業の成長はない」として、海外展開を近

神奈川県の観光地の策などを話されている。光サミットの被害と経済的回避に、今後の箱

火山温泉観光サミット

提供します。

神奈川

横浜支局 044-2201-2551
川崎支局 044-2221-7793